

# 消化器・肝臓センター

## NEW 一す

NO. 15

2016.9

## 合併症0をめざして



ERASをご存知ですか？

ERAS（イーラス）とは「Enhanced Recovery After Surgery」の略で「術後の回復を高める・強化する」という意味があります。

「術後早期回復プログラム（ERAS）」は、慣習的な方法で術前・術後の管理をするのではなく、医療技術や知識をエビデンス（科学的根拠）に基づいて活用することで、患者の術後回復力を強化し、患者の術後を改善する方法として提唱されています。

つまり、術後の早期回復に役立つことが証明されている方法を、術前・術中・術後を通して一つひとつ計画的に実践することで、術後の合併症を抑え早期の退院や社会復帰を実現しようというものです。

大腸チームでも2012年からERASを取り入れております。



下剤をなしにしたり、食事開始を早めたりしたわけですが、合併症は減りました。

術後合併症

	ERAS導入前群(50例)	ERAS導入後群(51例)
縫合不全	5(10%)	0(0%)
開腹	3(8%)	0(0%)
鏡視下	2(18%)	0(0%)
再手術をともなった 縫合不全	4(8%)	0(0%)
死亡例	2(4%)	0(0%)
開腹	2(5%)	0(0%)
鏡視下	0(0%)	0(0%)

当院外科では、疾患別になっており、大腸チームは奥山・岡野で担当しております。専門化されたチームのため、新しい取り組みもしやすく、どこにも引けをとらない治療にとりこんでおります。何かありましたら、気軽にご紹介ください。

外科 岡野美穂



市立貝塚病院  
TEL : 072-422-5865

KAZUKA